

INCOE エッジゲートノズル

進化した INCOE エッジゲート

INCOE 社最新のエッジゲートノズルは、ノズル全体の温度分布を均一化し、融解樹脂を各ゲートまでバランス良く流すことが可能です。

また熱電対はゲート付近に設置され、各ゲートの実温差を最小にしています。



ゲート点数

- 2 点
- 4 点
- 8 点

ノズル長さ

80mm ~ 120mm 間でご指定下さい。

INCOE ホットランナの詳細は弊社営業までお問い合わせ下さい。



日本金型産業株式会社

東京都大田区西蒲田5-27-1
TEL:03(3733)6311 FAX:03(3736)5300
URL: <http://www.jtdtky.co.jp>
E-mail: jtd@jtdtky.co.jp



在ミシガン州トロイ INCOE 本社

当時 INjection COntrOl Engineering という社名だった、現在の INCOE によって 1958 年に初めて開発商品化された**ホットチップブッシング**は射出成形業界に革命を起こしました。スプルーとランナーを省略可能にして、射出成形に新しい時代の到来をつげたのです。

今日、INCOE 社は成形業界向けに様々な製品を開発し、製造しています。INCOE 社の製造品目は、ホットランナシステム、温度コントローラ、異物除去フィルタ、油圧・空圧バルブゲートシステム、金型交換システム、そして、世界一の種類を誇るマシンノズルとブッシングです。

INCOE 本社は USA ミシガン州トロイにあります。製造工場は USA、GERMANY、CHINA、SINGAPORE、BRAZIL にあり、また世界 47 ヶ所にサポート拠点を有し、グローバルなサポート体制を構築しております。

ブッシングの歴史

樹脂路内にヒータをもったオリジナルホットチップブッシングの改良型として、1977 年インコー社は樹脂路の周りにコイルヒータを巻いたブッシングを開発しました。この新しいコイルヒータブッシングはキャビティからゲートまで樹脂をスムーズに流すことを可能にしました。1985 年このコイルヒータは簡単に取外しの出来るキャストヒータに進化しました。この新しいブッシングは XRC と呼ばれ、ヒータとともに最初のチップ交換式ブッシングになりました。XRC はその後、さらに改良を加えられより低いワット数で作動する XRC-II に進化した。これにより、省エネとヒータの長寿命化を実現しました。

現在 INCOE 社は最新の技術を駆使した DF シリーズを全世界で販売し、様々な業界でランナーレス化に成功しています。

貴社の生産性向上に寄与する INCOE ホットランナシステムを是非ご用命下さい。